

## 福島県

- ①シンボルツリー
- ②案内看板

### 【概要・アピールポイント】

- ①シンボルツリーに再加工し林業アカデミーふくしまに設置することにより、大会レガシーと加工技術を伝承する。
- ②案内看板に再加工し林業研究センター内に設置することにより、大会レガシーと加工技術を伝承する。

#### ■ 資材提供のきっかけ

2011年3月11日に発生した東日本大震災と原発事故は県民の暮らしを大きく変え、林業・木材産業にも甚大な影響を及ぼしたが、国内外からの温かい御支援により、復旧・復興の歩みを進めてきた。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を通じて、復興に向けた多くの方々の温かい御支援への感謝の気持ちと、力強く歩み続ける本県の姿を国内外に発信するため、木材提供を行った。

#### ■ 提供した木材の概要

- ①スギ（無垢材）ヒノキ（無垢材）②ヒノキ（無垢材）

#### ■ 用途

- ①シンボルツリー（1基）
- ②案内看板（3基）



#### ■ 用途決定までのプロセス

- ①林業アカデミーふくしまは林業従事者を育成する研修拠点であることから、「支え合う学びと技術のシンボル」としてシンボルツリーを設置した。

#### ■ 完成/使用開始時期

2022年8月

#### ■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

- ①林業アカデミーふくしま
- ②福島県林業研究センター

#### ■ 完成まで・完成後のエピソード

- ①シンボルツリーを構成する1本1本の木材は林業アカデミーふくしまで学ぶ研修生をイメージし、お互いに支え合い協力しながら形づくるその姿は、研修生の林業従事者としての成長と未来への飛躍の願いが込められている。また、ビレッジプラザ建築資材の再利用を図ることにより、福島県産材の再生と循環を通じて大会レガシーを創出するとともに、カーボンニュートラルの実現やSDGsの達成に貢献している。併せて、複雑な角度で交差する木材には、ふくしまが誇る高度な加工技術が利用されており、特別な金物を使用せず木と木を組み合わせる技術や、ビレッジプラザ建築資材を有効に活用する知恵を駆使したデザインは、ふくしまの高いテクノロジーを示すシンボルとなる。
- ②福島県林業研究センター敷地内に設置した案内看板は、返却されたビレッジプラザ建築資材をなるべく加工せず、角材のまま使用するデザインとした。設置に当たっては、安全性(風荷重)や耐久性(屋外用保護塗料)を考慮した。

#### 問合せ先

林業振興課

電話：024-521-7432

## 福島県

- ③木材の譲渡
- ④木製ベンチ

### 【概要・アピールポイント】

- ③県内各市町村等へ木材を譲渡することにより、大会レガシーを共有するとともに、木材利用に関する普及啓発、意識醸成を図る。
- ④県内各市町村の公共施設等に木製ベンチを設置することにより、大会レガシーを共有するとともに、木材利用に関する普及啓発、意識醸成を図る。

#### ■ 資材提供のきっかけ

2011年3月11日に発生した東日本大震災と原発事故は県民の暮らしを大きく変え、林業・木材産業にも甚大な影響を及ぼしたが、国内外からの温かい御支援により、復旧・復興の歩みを進めてきた。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を通じて、復興に向けた多くの方々の温かい御支援への感謝の気持ちと、力強く歩み続ける本県の姿を国内外に発信するため、木材提供を行った。

#### ■ 提供した木材の概要

- スギ（無垢材）
- ヒノキ（無垢材）

#### ■ 用途

- ③木材の譲渡（約32m<sup>3</sup>）
- ④木製ベンチ（162基）



#### ■ 用途決定までのプロセス

③④「日本の木材活用リレー ～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～」の理念を市町村等に共有するために、レガシー利用に関するアンケート調査を行ったところ、木材としての譲渡や木製ベンチに加工したものの配布を希望する声が多く寄せられたことから、木材の譲渡や木製ベンチの加工・配布を行うこととした。

#### ■ 完成/使用開始時期

- ③ 2022年5月、2023年1月
- ④ 2022年7月

#### ■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

- ③県内各市町村等
- ④県内各市町村の公共施設等

#### ■ 完成まで・完成後のエピソード

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関するプロジェクトである「日本の木材活用リレー ～みんなで作る選手村ビレッジプラザ～」の理念を引き継ぎ、次世代に誇れる遺産（レガシー）を創出するため、ビレッジプラザの建築に際し、福島県が提供した木材及び当該木材を加工した木製品を譲渡し、大会レガシーを共有するとともに、木材利用に関する普及啓発・意識醸成を図る。

#### 問合せ先

林業振興課

電話：024-521-7432

## 福島県

- ⑤木製サイクルスタンド
- ⑥鉛筆

### 【概要・アピールポイント】

- ⑤県内各市町村の公共施設等に木製サイクルスタンドを設置することにより大会レガシーを共有するとともに、木材利用に関する普及啓発、意識醸成を図る。
- ⑥オリパラ関連業務に協力をいただいた県内小中学校に対し、建築資材を再加工した鉛筆を配布することにより、大会レガシーを共有するとともに、木材利用に関する普及啓発、意識醸成を図る。

#### ■ 資材提供のきっかけ

2011年3月11日に発生した東日本大震災と原発事故は県民の暮らしを大きく変え、林業・木材産業にも甚大な影響を及ぼしたが、国内外からの温かい御支援により、復旧・復興の歩みを進めてきた。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を通じて、復興に向けた多くの方々の温かい御支援への感謝の気持ちと、力強く歩み続ける本県の姿を国内外に発信するため、木材提供を行った。

#### ■ 提供した木材の概要

- ⑤スギ（無垢材）ヒノキ（無垢材）
- ⑥ヒノキ（無垢材）

#### ■ 用途

- ⑤木製サイクルスタンド（96基）
- ⑥鉛筆（15,000本）

#### ■ 用途決定までのプロセス

⑥オリパラ関連業務に協力をいただいた県内小中学校に対し、建築資材を再加工した鉛筆を配布することにより、大会レガシーを共有するとともに、木材利用に関する普及啓発、意識醸成を図るため、木材利用促進月間（10月）に合わせ、各学校へ配布。

#### ■ 完成/使用開始時期

- ⑤ 2022年6月以降
- ⑥ 2022年8月（予定）

#### ■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

- ⑤県内各市町村の公共施設等
- ⑥林業関係イベント来場者、県内小中学校（66校）に配布

#### ■ 完成まで・完成後のエピソード

⑥配布したエンピツは「木材の部分が柔らかく、書き心地もよく、児童に好評」との感想をいただいている。



#### 問合せ先

林業振興課

電話：024-521-7432

## 福島県

- ⑦木製プレート、卓上席札、木製時計
- ⑧林業関係イベントでの配布
- ⑨林業関係イベントで木工工作を実施

### 【概要・アピールポイント】

- ⑦オリパラ関連業務に協力をいただいた県内小中学校及び県庁内各課に対し、建築資材を再加工した木製プレート、卓上席札を配布することにより、大会レガシーを共有するとともに、木材利用に関する普及啓発、意識醸成を図る。
- ⑧林業関係イベントで短材を配布し、使用いただくことにより、大会レガシーを共有するとともに、木材利用に関する普及啓発、意識醸成を図る。
- ⑨ビレッジプラザ建築資材を再加工して木工工作キットを作成し、林業関係イベントで木工工作体験イベントを実施することにより、大会レガシーを共有するとともに、木材利用に関する普及啓発、意識醸成を図る。

### ■ 資材提供のきっかけ

2011年3月11日に発生した東日本大震災と原発事故は県民の暮らしを大きく変え、林業・木材産業にも甚大な影響を及ぼしたが、国内外からの温かい御支援により、復旧・復興の歩みを進めてきた。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を通じて、復興に向けた多くの方々の温かい御支援への感謝の気持ちと、力強く歩み続ける本県の姿を国内外に発信するため、木材提供を行った。

### ■ 提供した木材の概要

- ⑦、⑨スギ（無垢材）⑧スギ（無垢材）ヒノキ（無垢材）

### ■ 用途

- ⑦木製プレート（2種類、計128枚）卓上席札（99個）木製時計（3基）
- ⑧林業関係イベントでの配布
- ⑨林業関係イベントで木工工作を実施



### ■ 用途決定までのプロセス

- ⑦オリパラ関連業務に協力をいただいた県内小中学校に大会レガシーを共有するために、建築資材を再加工した木製プレートを配布。また、木材利用に関する普及啓発、意識醸成を図るため、県庁内各課に卓上席札を配布。

### ■ 完成/使用開始時期

2022年10月

### ■ 製作・使用したものの設置・建設場所や利用者など

- ⑦県庁内各課、県内小中学校等に配布
- ⑧、⑨林業関係イベント来場者

### ■ 完成まで・完成後のエピソード

⑦オリパラ関連業務に協力をいただいた県内小中学校に建築資材を再加工した木製プレートを、県庁内各課に卓上席札を配布することにより、大会レガシーを共有するとともに、木材利用に関する普及啓発、意識醸成を図った。また、木製時計を作成し、庁内に設置した。

⑧10月22日に開催した第47回福島県林業祭において、来場者（67名）に対し、ビレッジプラザ建築資材（短材）を配布した。配布した木材を使用いただくことにより、大会レガシーを共有するとともに、木材利用に関する普及啓発、意識醸成を図った。

⑨10月22日に開催した第47回福島県林業祭において、来場者（48名）を対象とした木工工作体験イベントを開催した。木工工作体験を通じて、木材利用に関する普及啓発、意識醸成を図るとともに、完成した木製品（ビレッジプラザの焼印を押印）を利用いただくことにより、大会レガシーを共有した。

### 問合せ先

林業振興課

電話：024-521-7432